

# 実測調査の概要

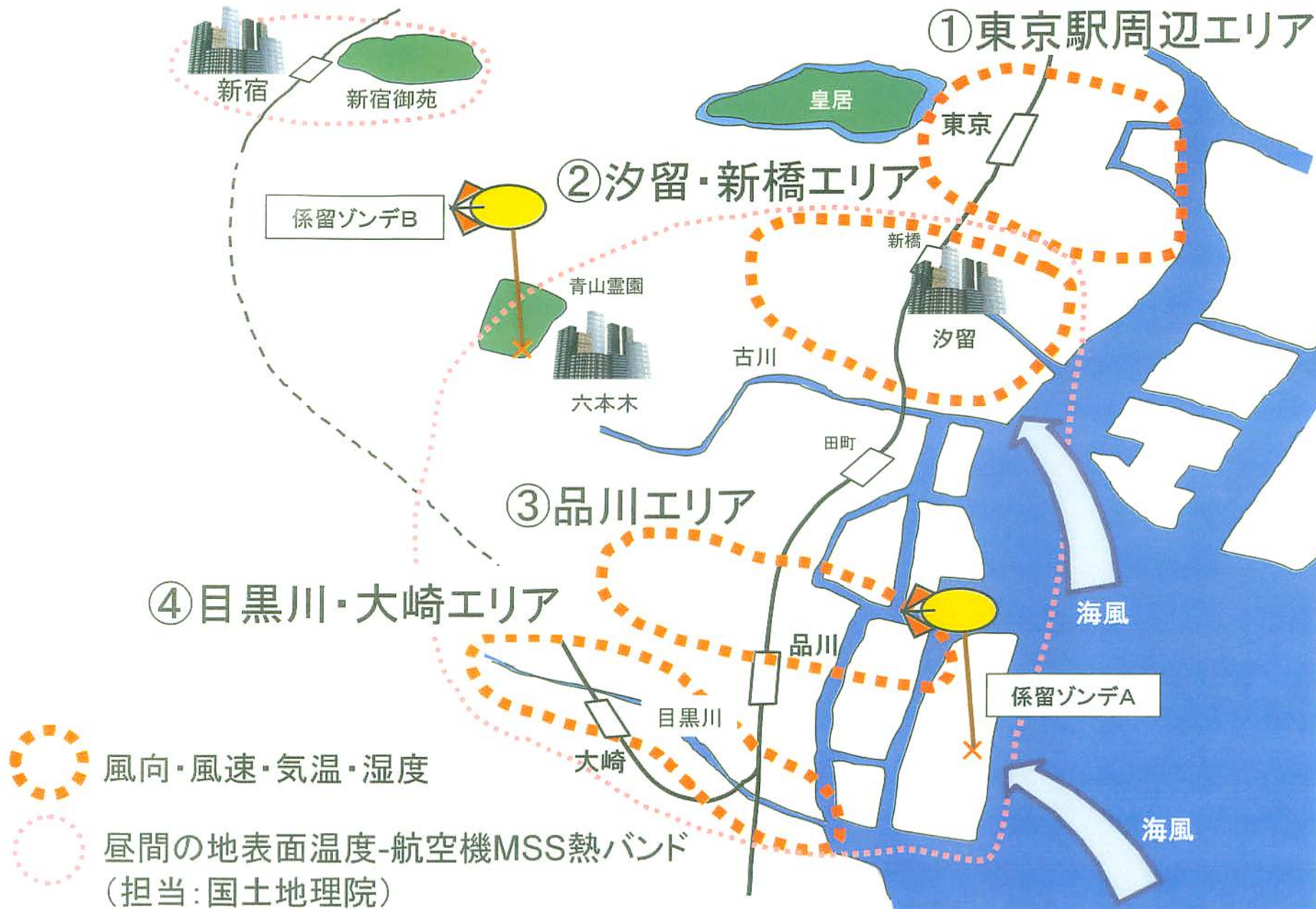
# 実測調査の目的

## 「風の道」の現象解明と効果の定量化 (7月下旬～8月上旬に実施)

(参考)「地球温暖化・ヒートアイランド対策モデル地域」(都市再生本部)

- 品川駅周辺地域
  - 都市・居住環境整備重点地域である品川駅周辺の今後の開発に際し、**風の道**を含む新たな環境共生モデルを検討。大規模集合住宅等の建設に併せた建築物の省エネルギー対策、屋上等緑化を推進。
- 大崎・目黒周辺地域
  - 目黒川を軸とした**風の道**の確保、保水性舗装やまとまった緑の確保等を盛り込んだ環境配慮ガイドラインの策定と地域を挙げた取組を実施。

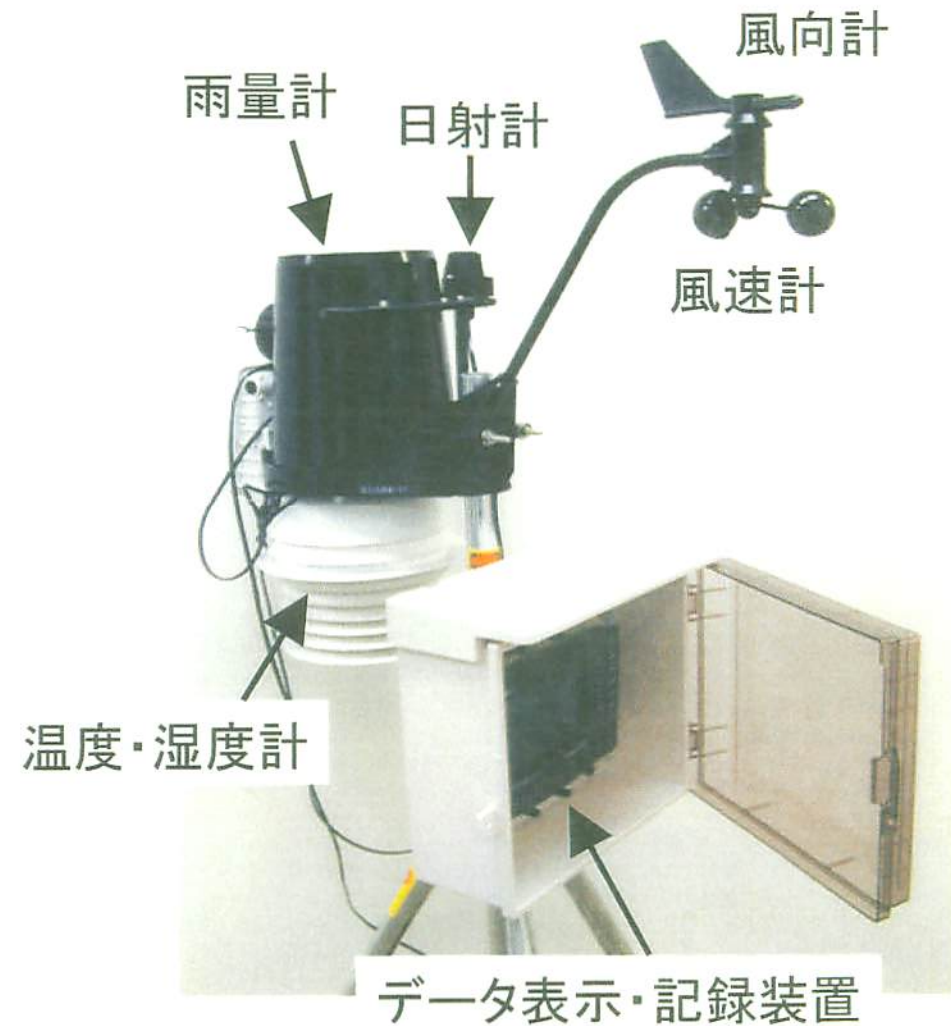
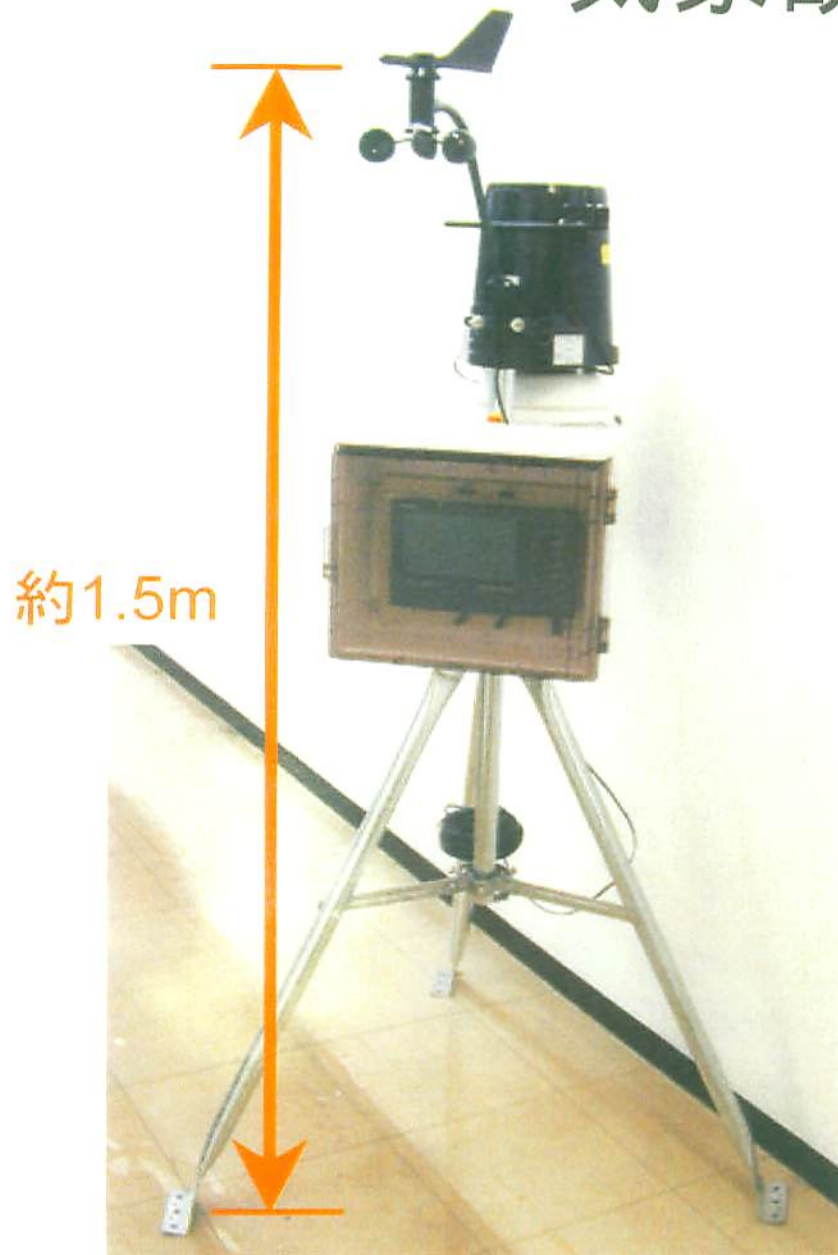
# 観測エリアの概要



# 実測調査のポイント

- 東京駅前周辺エリア
  - 八重洲通り、晴海通り、日本橋川等の大丸有地区における「風の道」の現象解明と効果の検証
- 汐留・新橋エリア
  - シミュレーションの詳細検証データの整備
  - 超高層ビル群による熱的影響範囲の検証
- 品川エリア
  - 「風の道」の把握と効果の定量化
- 目黒川・大崎エリア
  - 目黒川の「風の道」の現象解明と効果の検証

# 気象観測装置(40台)



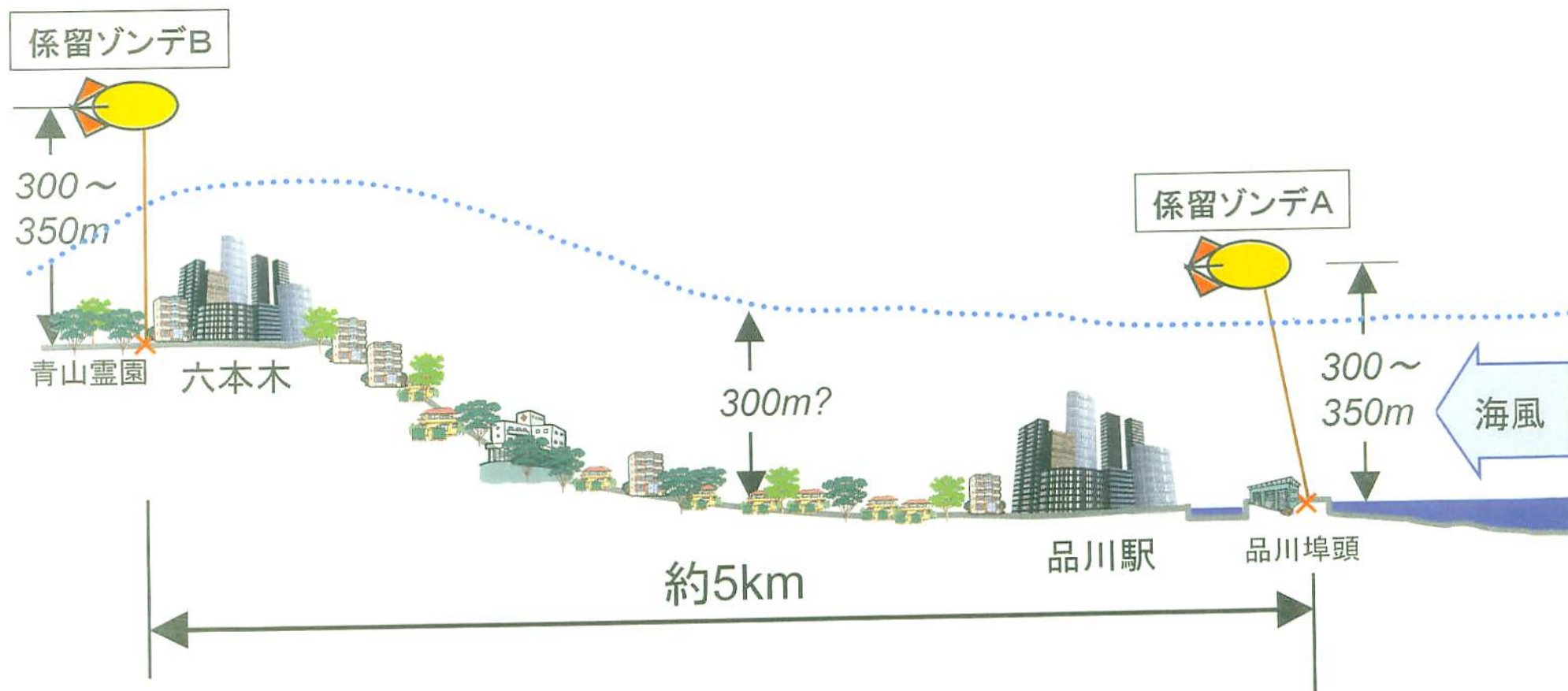
10分間隔で約2週間連続計測が可能

# パイロットバルーン(パイバル)観測

浮力調整した気球を飛ばして、その方位角・高度角により追跡し、上空100m毎の風向と風速を把握する

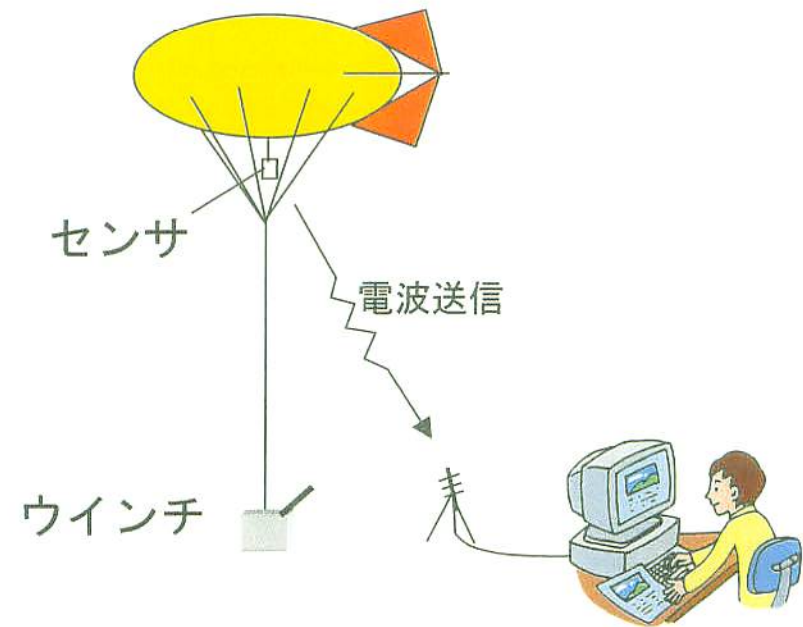


# 海風の構造とその影響範囲の調査の模式図



# 係留ゾンデ(カイツーン)

任意の高度の気圧・風向・風速・  
気温・湿度を計測する



# 既存の気象観測点の活用

- METROS(東京都)
- 港区(6月～17年度末)
- 大気汚染測定局(環境省等)
- AMEDAS(気象庁)
- 首都高速道路公団(レインボーブリッジ等)
- 超高層ビル屋上気象観測点(都市再生機構等)
- 気象データ提供会社 等